

<b>1年</b>	<b>④ 文字式と数量 (2)</b>
	( ) 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

問 次の(1)～(3)の各問いに答えなさい。

(1) 下のア～エの中に、 $\frac{x+y}{2}$  という式で表されるものがある。

それはどれか、1つ選び、記号に○を付けなさい。

ア 底辺が $x$ cm、高さが $y$ cmの三角形の面積 (cm<sup>2</sup>)  $\frac{1}{2}xy$  (cm<sup>2</sup>)

イ 片道2kmの道のりを、行きは時速 $x$ km、帰りは時速 $y$ km  
で歩いたとき、往復にかかった時間 (時間)  $\frac{2}{x} + \frac{2}{y}$  (時間)

ウ あるテストで、国語の得点が $x$ 点、数学の得点が $y$ 点で  
あった生徒の、この2教科の平均点 (点)  $\frac{x+y}{2}$  (点)

エ  $x$ 円の鉛筆と $y$ 円の消しゴムを、それぞれ2個ずつ買った  
ときの合計の金額 (円)  
 $2(x+y)$  または  $2x+2y$  (円)

(2) これまでのテスト5回分の得点の平均は $a$ 点である。今回のテストの  
得点が90点であるとき、次の式は何を表していますか。

$$\frac{5a+90}{6} \text{ (点)}$$

$5a$ は、テスト5回分の合計得点を表し、今回の得点  
90点をたしているの、6回分の得点合計となる。  
そして、6で割っているの、平均点となる。

テスト6回分の得点の平均

(3) 1個 $x$ 円のテニスボールを5個買うと、代金は800円より高くなる。  
このとき、数量の関係を不等式で表しなさい。

テニスボールを5個買うと、 $5x$  (円) で、  
その代金が800円より高いから、  
 $5x > 800$

$5x > 800$